

総務文教常任委員会

令和2年6月24日(水)

午前9時30分～

全員協議会室

1 開議

2 事務局日程説明

3 市長質疑

(1)かめおか霧の芸術祭について

4 討論～採決

5 その他

(1)議会だよりの内容について

(2)次回の月例開催について

かめおか霧の芸術祭に対する市長質疑事項

- ① 3月予算特別委員会市長質疑での市長の「コロナの影響が出た場合、一番初めに予算が削られるだろう」との発言を伺い、「市民理解が得られるよう、また、これ以上、経費の増額がないように、期間を決めて取り組むこと」との附帯決議を付けて1,700万円の当初予算を可決した。

コロナの影響が出たことから、5月に「事業を中止し、経費を新型コロナ対策に充てること」と提言したが、補助金を得て事業計画も立てているので中止できないとの説明を受けた。

附帯決議、提言をどう受け止めたのか？どのような対応を所管部に指示したのか？

- ② コロナで大変な思いをしている市民がいるこの時期に、なぜ今やるのか、他にやるべきことがあるのではないかと市民の声を聞くが、市民に説明できない。

市民理解が進んでいない事業に、この時期に公金を投入することの意義は？

- ③ 花火大会やハーフマラソンは中止になっているが、この時期だから仕方がないと思う。

この事業だけ実施するのはなぜか？

- ④ 「期間を決めて取り組むこと」との附帯決議に対し、行政は少しずつ手を引いているとの説明を受けた。

いつまで行政が行うのか？

- ⑤ 市長は、3月予算特別委員会市長質疑では「コロナの影響が出た場合、一番初めに予算が削られるだろう。」、6月議会では「亀岡のリーディング事業。やめれば他と変わらない人口減少のまちになる」と答弁された。

発言が覆った真意は？

- ⑥ これまで、亀岡のリーディング事業は生涯学習だと思ってきた。霧の芸術祭も生涯学習部が所管している。

生涯学習と霧の芸術祭の差異化は？

第5次総合計画では生涯学習ではなく霧の芸術祭になるのか？

亀岡市の10年後のビジョンは？

- ⑦ 議会としては、附帯決議や提言に基づき、市民理解が得られるよう促すとともに、これ以上増額がないよう期間を決めて取り組む（行政が徐々に手を引く）こと、新型コロナ対策に力を注ぐために事業規模を縮小し予算執行を極力減らすことを引き続き求める。

所見は？